

～ 2022年12月賞与に関する労使協議会を開催しました ～

11月7日(月)に、『2022年12月賞与』に関する労使協議会を開催しました。要求に先立ち、11月4日(金)には支部大会を開催し、組合(案)は満場一致で可決されています。要求の結果、2022年12月賞与は**組合要求通りの満額回答**を頂いています。

2022年12月賞与						
社員 ステージB	評価	一律				
	支給ヵ月	1.00				
社員 ステージC	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.25	1.15	1.05	0.95	0.85
スタッフ社員	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.45	1.25	1.15	1.05	0.85
シニア スタッフ (F・S)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.30	1.10	0.90	0.70	0.50
シニア スタッフ (P)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.00	0.80	0.60	0.40	0.20

※支給日：2022年12月5日(月)

詳細は限定メンバーズ議案書をチェック

詳細は上のリンクをクリックして議案書を
 チェックするうさよ〜



11月4日(金) 支部大会

【大会代議員のコメント】

- ・ 予算に未達で厳しい状況には間違いないが、その中で業務に取り組むメンバー達の負荷が高まっている状況があるため、早期の黒字化が必要だと感じている。
- ・ 今賞与の要求内容は、組合の考え方にもあるようにメンバーの声がしっかり活かされていると思う。
- ・ 賞与が支給されて有難いという状況から、支給されて当たり前という状況にしないといけな。本来の賞与交渉を行い、水準を上げていくためにも利益を出せる状況を早期につくる必要がある。
- ・ 下期以降の方針を聞いているが、今より大変になるのではないかと不安に感じているメンバーがいる。不安を抱えている中、いかにモチベーションを上げていくかが課題。経営の皆さんには、現場の声を汲み取り、安心して働ける環境を作って欲しい。



11月7日(月) 労使協議会

【支部執行委員長 石井さんのコメント】

- ・ 今回の要求内容は、賞与は生活給であるという位置付けを前提に、昨年度のメンバーの声を反映させたものである。
- ・ VOICEでは、要求内容の説明だけではなく、下期方針が出された直後であったことから、メンバーの理解度や意見不安の有無を確認する位置づけとしても実施してきた。
- ・ 制度に則った賞与交渉を早期に行うため、仙台三越に所属する従業員が『売上を上げ労働条件を勝ち取っていく』と気持ちを合わせ、取組みを進めていきたい。



【代表取締役社長 小宮さんのコメント】

- ・ 賞与交渉や皆さんとの対話会を通じて、会社の戦略や危機感を共有し、目標に向けて労使で一致団結して取組んでいきたいと考えている。
- ・ ステージCの皆さんとの対話会を踏まえ、厳しい状況だからこそ、本音(課題)を出し合い、早期により良い環境へ改善していくことが必要だと考えている。今後も定期的にコミュニケーションの機会を設けていきたい。
- ・ 売上はお客さまからの支持であり、これまでも多くの有難いお言葉を頂戴している。トップライン・収益を上げていくためにも、お客さまの声はもちろん、従業員の皆さんとの対話を大切にし、取組みを進めていきたい。

〈労使協議会〉

11/7(月) 11:00～ 定禅寺通り館6階応接室 ※敬称略

参加者	会社	小宮	千葉	小西	肥後	組合	石井	真山	工藤	若山
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----